

石油コンビナートの生産性向上及び強靱化推進事業費

令和2年度概算要求額 50.0億円(203.6億円)

※臨時・特別の措置として国土強靱化対策を別途事項要求。()内のうち臨時・特別の措置133.6億円。

事業の内容

事業目的・概要

- 石油コンビナートは、国民にガソリンなどの石油製品などを供給する拠点であり、国民生活・地域経済の重要な基盤です。
- 特に災害時は、石油はエネルギー供給の「最後の砦」であり、平時・緊急時を問わず国内に安定的に石油製品を供給できる強靱な供給基盤を構築することが必要です。
- そのため、石油コンビナートの生産性と危機対応力の向上に資する以下の取組を官民連携で推進します。
 - ・石油コンビナート地域内の複数事業者間の連携等による既存設備の有効活用や、世界最先端の精製プロセスの導入、輸出能力の強化等を促進し、石油の安定供給実現に必要な「石油コンビナートの立地基盤整備」に向けた投資。
 - ・過去の大規模災害での教訓を踏まえ、大規模災害時にも出荷機能を十分に維持できるよう、製油所・油槽所の非常用自家発電設備の整備・増強や、大規模災害を想定した油槽所等の強靱性評価・強靱性評価等を踏まえた強靱化対策など「石油供給インフラの強靱化」に向けた投資。

成果目標

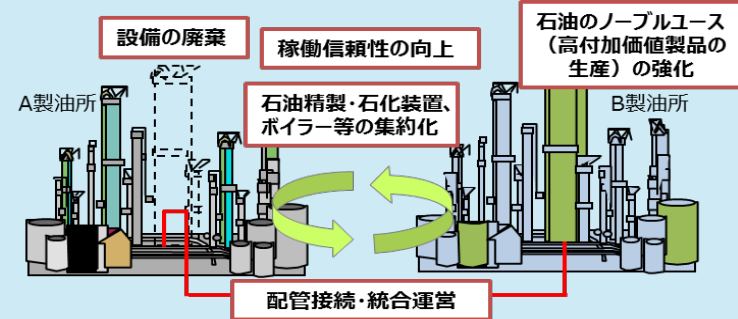
- 立地事業所間の原料・水素・水蒸気の融通の促進や精製可能な原油の重質化、大規模災害時にも出荷機能を十分に維持することを目指すなど、石油コンビナート等の生産性と危機対応力の向上を目指します。

条件(対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

(1) 「石油コンビナートの立地基盤整備」に向けた投資

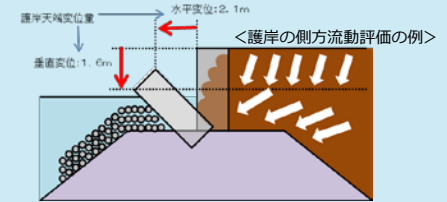


(2) 製油所・油槽所の非常用自家発電設備の整備・増強

(非常用自家発電設備イメージ)



(3) 大規模災害を想定した油槽所等の強靱性評価



(4) 大規模災害を想定した油槽所等の強靱化対策

設備の安全停止対策(配管の緊急遮断弁の増強、タンカー自動離機装置等の増強等)

耐震・液状化対策(タンカー・棧橋・背後護岸、構内配管、フレアスタック等の強化等)

入出荷設備の能力増強(ローリー出荷能力の増強、受入配管新設等)

